

児童福祉学科課程 （「短期大学士」の学位）

卒業に必要な単位

1. 本学に2ヶ年以上在学し、次の単位を修得した者に、卒業を認定します。

教養教育科目 12 単位以上〔卒業必修10単位含む〕

専門教育科目 52 単位以上〔卒業必修6 単位含む〕

合 計 64 単位以上

2. 卒業時には、短期大学士の学位が授与されます。

3. 大学の教科目は、教養教育科目と専門教育科目に分かれています。

4. 教養教育科目は卒業必修科目と、選択科目に分かれています。卒業必修科目以外の科目は、資格・免許を取得する場合に必修となる科目もあります。

5. 専門教育科目も卒業必修科目と選択科目に分かれています。

卒業必修科目以外の科目は、資格・免許を取得する場合に必要な科目もあります。

これについては、保育士資格、幼稚園教諭二種免許、社会福祉主事任用資格、おもちゃインストラクター養成講座の項で資格・免許取得に必修となる科目を明記してあります。

6. 各授業科目の授業回数は、前ページの単位制度の基準により次のとおり実施します。

- ① 講義（2 単位）の半期科目（前期科目または後期科目）は、13 回の授業を実施します。

- ② 演習（1 単位）の半期科目（前期科目または後期科目）は、13 回の授業を実施します。

演習（2 単位）の通年科目は、26 回（前期 13 回と後期 13 回）の授業を実施します。ただし、「保育・教職実践演習（幼稚園）」は、演習 2 単位だが半期科目（前期科目または後期科目）とし、13 回の授業を実施します。

- ③ 「体育理論」（講義 1 単位）と「体育実技」（実技 1 単位）は、「体育理論」6.5 回と「体育実技」19.5 回の計 26 回の授業を実施します。

- ④ 「保育実習」「教育実習」及び「インターナショナル・フィールドワーク」は、学外実習や演習を含めた授業になります。